



# CIRのつぶやき

国際交流 国際理解教育 国際協力  
国際観光 多文化 相互理解友好を図る



2026.04.01 第72号 Hello, Spring! アメリカの春のお楽しみ①

気温がだんだん上がってくると共に、暖かくて気持ち良い風が吹いてきます。私の国アメリカでも、日本でも、夜が短くなっていきます。これで、「春が来た!」という雰囲気があります。アメリカでは、春に様々な楽しい祝日や習慣があります。今月のCIRのつぶやきで、見てみましょう!

## サマータイム(夏時間)

アメリカには「サマータイム(夏時間)」という制度があります。夏になると標準時間から時計を1時間進めて、夕方から夜までの明るい時間を増やして、日差しのある時間を活用するための制度です。第一次世界大戦のとき、燃料を節約するために太陽の光を有効活用しようと、初めてドイツでサマータイムが使われ世界に広がりましたが、現在ではほとんどの国が使っていません。しかし、アメリカではまだ続いています。私はアメリカの農業地域に住んでいたのですが、よく聞く理由の一つが、農業へのメリットです。時計を調整すれば、畑で太陽の光をより長く活用できるので、忙しい作付けや収穫の時期に遅くまで仕事を続けることができます。現在は、「めんどうだから廃止しよう」という声が増えましたが、サマータイムはアメリカで「春が来た」という合図の一つになっています。



## 卒業と春休み

春は学生にとって楽しくて忙しい時期です。3月には1週間の春休みがあって、多くの人が旅行に出かけます。小中高生なら家族と一緒に旅行するのが一般ですが、大学生になると友達同士でよく旅行します。長い冬が終わると、多くの人々が暖かい場所を求めて、アメリカならフロリダ州やカリフォルニア州に行きます。有名な春休みの旅行先はフロリダ州のマイアミ、特にマイアミビーチです。毎年のように、オーバーツーリズムの話題が報じられています。日焼けしながらパーティーをする雰囲気です。





# CIRのつぶやき

国際交流 国際理解教育 国際協力  
国際観光 多文化 相互理解友好を図る



2026.04.01 第72号 Hello, Spring! アメリカの春のお楽しみ②



## イースター(復活祭)

イースターはアメリカの春の主な祝日です。クリスマスのように、元々キリスト教、イエス・キリストの復活を祝うための祝日ですが、現在ではキリスト教徒じゃない人でも、みんながお祝いします。イースターには定番の行事や飾りがあります。ウサギとパステルカラーで染めたタマゴはイースターの象徴です。そして、宗教的な方々の間では、十字架やヤシの葉もよく飾られます。家族と一緒にパーティーをしたり、温かな日差しの中で外遊びを楽しんだりします。外では、タマゴ探しのゲームをしている家族が多いです。大人達がお菓子やお金が入っているプラスチックのタマゴを隠します。子供達がそれをかごに集めて楽しめます。一番人気なのは、タマゴやウサギの形をしたチョコレートです。また、子供たちが「イースターバスケット」という沢山のイースター用のお菓子が入っているプレゼントをもらうこともあります。春ならではの祝日です！

## 戦没将兵追悼記念日

5月の最終月曜日にある「戦没将兵追悼記念日」が過ぎると、アメリカ人は「夏に入った」と感じます。暑くなる前の気持ちいい暖かさで、外遊びや、夏の遊びの始まりだと言われています。小中高生にとっては、もうすぐやって来る卒業に、わくわくした気持ちが溢れている時期です。よくBBQをしたり、外でスポーツやゲームで遊びます。私の住んでいた中西部では、湖沿いのキャンプ場に行って、水遊びやキャンプを楽しむ人が多いです。春にさようならを告げるのにちょうどいい祝日です！

